テュフ ラインランド ジャパン株式会社
アカデミートレーニングサービス利用規約

序文　テュフ ラインランド ジャパン株式会社（以下、「TRJ」と表記）は、TRJ が運営する専用ウェブサイト（https://academy.tuv.com/japan/）を介したオンライントレーニングサービス及び対面トレーニング（以下、「本サービス」と表記）の利用について、以下の通りサービス利用規約（以下、「本規約」と表記）を定める。本サービス利用者（以下、「ユーザー」と表記）は、本規約の全文を理解し、同意した上で、本サービスを利用するものとする。

第 1 条 適用範囲

1.1　本規約は、TRJが専用ウェブサイトを通じて提供するEラーニング講座、ライブオンライントレーニング講座（以下、「LOT」と表記）、および対面トレーニング（以下、「FT」と表記）およびこれに付随するテキストやトレーニング資料等（以下、「提供コンテンツ」と表記）の利用に適用される。

1.2　ユーザー側の一般取引条件や購買条件は、テュフ ラインランド ジャパン株式会社 一般取引条件（以 下、「TRJ 一般取引条件」と表記）1.2 同様に、ユーザー固有の購買条件、その他の一般取引条件が存する場合であっても、当該取引条件の適用はないものとし、当該取引条件の適用は、本書をもって明示的に排除されるものとする。ユーザー固有の取引条件書等に記載される取引条件で本書に定める取引条件と相違するものはいずれも、TRJ がこれに明示的に異議を述べたか否かにかかわらず、TRJ を拘束することはないものとする。

第 2 条 契約の締結および登録の完了

2.1　TRJ が運営する本サービス専用ウェブサイトに掲載される講座の内容と価格は、TRJ の都合により変更となる場合がある。TRJ は、ユーザーからの注文を受け付ける前であれば、いつでもそれを撤回または変更できるものとする。

2.2　契約は、TRJ がユーザー名とパスワード（以下、「アクセスデータ」と表記）を契約相手であるユーザーに送信した場合にのみ成立するものとする。

2.3　TRJ は、本サービス専用ウェブサイトに表示される講座が利用可能な状態を保持するよう努めるものの、注文時にそのすべての講座が利用可能であることを保証することはできない。TRJ がユーザーの注文に応えることができない場合、TRJ は一切の責任を負うことなくその注文を拒絶することができるものとする。この場合、TRJ はできる限り速やかにその講座を注文したユーザーにそれを通知し、既に支払われた料金については、これをすべて返金するものとする。

第 3 条 講座へのアクセスとユーザーの義務

3.1　本サービスの講座は原則として、パスワードで保護されたリモートデータ通信によって行われ、契約相手となるユーザーは、TRJから送信されたアクセスデータを使用してアクセスするものとする。対面トレーニングの場合は、TRJが指定した会場にて行われるものとする。

3.2　アクセスデータは 1 人のユーザーに対してのみ有効とする。

3.3　契約の相手方となるユーザーには、アクセスデータを秘密にし、第三者による講座の不正利用を防ぐ義務があるものとし、ユーザーは、アクセスデータの管理およびその誤用について責任を負うものとする。

3.4 アクセスデータが盗用、不正使用または第三者によって不正に使用された場合であっても、TRJ はその責任を一切負わないものとし、それによって生じた損害に関する責任は当該アクセスデータを付与されたユーザーが負うものとする。

3.5 アクセスデータの悪用が認められた場合、TRJ は当該アクセスデータを使用した本サービスへのアクセスをブロックする権利を有する。

3.6 契約の相手方であるユーザーは、本サービスの講座へのアクセスに必要な技術的要件、特に使用するハードウェアやオペレーティングシステム（OS）ソフトウェア、接続速度とその安定性の確保を含むインターネット接続環境、使用するブラウザソフトウェア、テュフ ラインランドのサーバから送信されるCookieの受け入れについて責任を負い、これらの前提条件を満たすすべての費用を負担するものとする。対面トレーニングの場合は、TRJが指定する会場への移動および関連する費用をユーザーが負担するものとする。TRJは必要に応じて、ユーザーに推奨されるウェブブラウザを知らせることがある。

3.7 TRJ が本サービスを提供するシステムやプラットフォームおよび他の技術的構成要素のさらなる開発を行う場合、TRJ からの通知を受けた後、ユーザーは自社および自身が使用するソフトウェアおよびハードウェアに関して、ユーザー側の責任において必要な適応措置を講じる必要があるものとする。

第 4 条 サービスの範囲、利用制限および TRJ の変更権

4.1 各講座は、公開されているプログラムの内容、適用される法規制、認められた技術的要件に基づいて実施される。

4.2 E ラーニング講座は原則として、週 7 日、1 日 24 時間いつでも利用可能であり、暦の上での 98%以上の日時で利用できるよう、その可用性が確保される。この 98%以上という利用可能日時は、以下の計算式によって算出されたものである。

利用可能日時＝（総時間－総ダウンタイム）÷ 総時間

4.3 尚、LOT およびFTに関しては、本サービス専用ウェブサイトにて告知された開催日時および期間のみ利用できるものとする。講座の目的変更を伴う講座内容の変更は、関連する資格の認定に責任を負う機関の同意または要請がある場合のみ許可されるものとする。

4.4 TRJ ウェブサイトおよび本サービス専用ウェブサイト、並びに各種の広告、および書面での各講座に関する記述および説明は、そのサービスの品質説明のみを目的としたものであり、その品質を保証することを意図したものではない。

第 5 条 利用権、利用期間、利用権濫用の結果

5.1 契約の相手方となるユーザーには、注文した講座に参加する限定的な権利が付与されるものとする。これは注文した講座ごとに定められた利用期間に限定され、第三者に譲渡することはできない。

5.2 契約の対象となる講座への参加は、契約の相手方となるユーザーのみが行えるものとする。契約の対象となる講座に関連して配布された提供コンテンツは、利用期間中に限り、契約の相手方となるユーザー本人が自己の学習目的のみに利用することができるものとする。

5.3 ユーザーによる講座自体とその内容および提供コンテンツの販売、レンタル、リース、貸し出し等の商業的な利用は一切禁止とする。

5.4 第三者が TRJ の許諾を得ることなく本サービスのコンピュータプログラムを収集、複製、他のデータ保存場所へのコピー、検索システムに保存することは一切認められない。

5.5 E ラーニング講座の利用期間は、特に当該プログラムに別途の期間が定められていない限り、アクセスデータを受領してから 90 日間とする。

5.6 TRJ は、契約上許容される範囲を超えた使用を防止するための技術的措置を講じることができ、特に適切なアクセスバリアを設置する権利を有する。

5.7 ユーザーは、TRJ が契約上許容される範囲を超えた使用を防止するために講じる技術的措置を回避または克服するための装置、プログラム、その他の手段を使用してはならない。ユーザー側に違反または不正行為があった場合、TRJ は直ちに本サービスおよび講座へのアクセスをブロックする権利を有するだけでなく、予告なしに利用契約を終了させることができる。この場合、既に注文した講座の利用期間および契約期間が満了していなくとも、TRJ の権利や請求、特に損害賠償請求は、その影響を受けない。

5.8 著作権法第 30 条に定められた私的使用のための複製を作成する法的権利は、本サービスの利用契約の対象とはならない。

第 6 条 禁止事項

6.1 ユーザーは、本サービスおよび提供コンテンツ等を利用するにあたり、以下の各号のいずれかに該当する行為または該当すると TRJ が判断する行為を行ってはならない。

- TRJ とその代理人、他のユーザーもしくは第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉もしくはその他の権利または利益を侵害する行為、または侵害するおそれのある行為
- 本サービスおよび提供コンテンツ等を、本規約第 3 条、第 5 条および本条に定める利用権を超えて利用する行為
- 犯罪行為に関連する行為または猥褻な情報の送信等、公序良俗に反する行為
- 面識のない他者との交際を目的とした行為
- 法令または TRJ またはユーザーが所属する団体等の内部規則に違反する行為
- コンピュータウイルス等の有害なコンピュータプログラム、またはそれを含む情報を送信または用いる行為
- 本サービスの講座および関連する提供コンテンツの配布等、本サービスの運営を阻害する行為または阻害するおそれのある行為
- 他のユーザーのアクセス情報を利用する等、第三者になりすます行為、またはアクセスデータの貸与、譲渡、売買、リース等を含む自己のアクセスデータを第三者に利用させる行為
- ソフトウェアまたは第三者が提供するウェブサイトを利用し、本サービスの講座および提供コンテンツを不正にダウンロードする行為
- その他、TRJ が不適切と判断する一切の行為

第 7 条 権利帰属と守秘義務等

7.1 TRJ が提供する講座および提供コンテンツ等の著作権およびその他の知的財産権はすべて、TRJ または TRJ に権利を許諾した第三者に帰属するものとし、ユーザーはこれらの内容について守秘義務を負うものとする。

7.2 TRJ が提供するコンテンツの一部および全部の流用、転載、翻訳、光学機器またはそれに類する手段による複製、電子データ処理を利用した保存および加工、コンピュータネットワークでの配布に関する権利はすべて、TRJ または TRJ に権利を許諾した第三者に帰属するものとし、ユーザーがこれら一切の行為を行うことは禁止とする。

7.3 契約の相手方となるユーザーは、提供されたコンテンツおよびプログラムに関する所有権や利用権を付与されることはない。

7.4 商標、会社ロゴ、その他のマークや保護表示、著作権表示、シリアルナンバー、その他 TRJ または利用権保有者、またはそれら個別の要素を識別するための機能を有するものを削除または変更することはできない。

7.5 ユーザーが LOT 等の講座において、チャット機能等に入力、投稿した質問および発言、その他ユーザーが本サービスおよび提供コンテンツ等を通じて、TRJ および TRJ の代理人または他のユーザーに送信した一切の表現および情報（以下「投稿情報」と表記）に関する著作権については、著作権法第 27 条および第 28 条に定められた権利を含めて投稿、発信と同時にその一切が TRJ に譲渡されるものとし、ユーザーは投稿情報について、著作者人格権の行使を含むいかなる権利の主張も行わないものとする。TRJ は、ユーザーが投稿情報について設定した公開範囲を超えてその投稿情報を公開することはないものとする。本規約 11.5 に定める通り、投稿情報がユーザーと他のユーザーまたは第三者との間で取引、連絡および紛争等の原因となった場合、TRJ はその責任を一切負わないものとする。

第 8 条 違反行為等への措置

8.1 TRJ は、ユーザーが本規約において禁止されている行為を行った場合、または TRJ がそのおそれがあると判断する場合、事前に当該ユーザーに対して何らの通知を行うことなく、本サービスの全部もしくは一部へのアクセスをブロックする、または本サービスの利用契約を解除することができる。

8.2 TRJ は、前項の定めに関わらず、そのユーザーが虚偽の情報を TRJ に申告して本サービスを利用した場合、過去に前項の事由により利用契約を解除された者であった場合、そのユーザーが死亡した場合、法的に法定代理人、後見人、保佐人または補助人の同意が必要とされているにも関わらず、その同意等を得ていなかった場合、3 年以上にわたって本サービスの利用がなく、TRJ からの連絡に応答がない場合、その他 TRJ が本サービスの利用契約継続が適切でないと判断した場合には、当該ユーザーに対して事前通告を行うことなく本サービスの利用契約を解除する権利を有するものとする。

8.3 本条いずれかの事由に該当した場合、ユーザーは、TRJ に対して負っている債務の一切について期限の利益を失い、TRJ に対して残債務がある場合、直ちに全債務を支払わなければならないものとする。TRJ は、本条に基づき TRJ が行った行為によりユーザーに生じた損害について一切責任を負わないものとする。

第 9 条 支払と支払条件

9.1 講座への参加費用は、TRJ 一般取引条件 8.1 および 8.2 同様に、銀行振込時の手数料を含めて何らの控除なく、請求書記載の期日までに支払われなければならず、支払は、請求書に記載された TRJ の口座に、請求書番号と顧客番号を明記して支払われるものとする。また、オンライン決済によって講座への参加費用を支払う場合は、前払いにて支払われるものとする。但し、TRJ は講座によって別途の支払方法を指定する権利を有するものとし、この場合は講座の説明文をもってユーザーに告知するものとする。

9.2 請求書に記載の支払期日までに支払が行われなかった場合、TRJ 一般取引条件 8.3 同様に、TRJ は延滞した請求書の金額に法定利率に準じた利息を上乗せして請求することができ、また TRJ が、その他損害の賠償を請求することは妨げられない。

9.3 契約の相手方となるユーザーは、正当な法的根拠に基づいたものである場合か、または TRJ から異議のない場合にのみ、請求を留保することができる。ユーザーは、その主張が同一の契約関係に基づいている場合に限り、請求を留保する権利を行使できるものとする。

9.4 TRJ 一般取引条件 8.4 同様に、相当期間経過後も顧客の支払遅滞が是正されない場合には、TRJ は、当該契約の解除、発行済み証明書の撤回、損害賠償請求、当該契約の履行の拒絶をすることができる。

9.5 TRJ 一般取引条件 8.6 同様に、TRJ からの請求に対する異議は、請求書の到着から 2 週間以内に書面をもって行う必要があるものとする。

第 10 条 契約不適合責任とその保証

10.1 TRJ が提供する講座に本規約 4.1 において定義された契約上の品質がなく、それによって契約の目的が達成できない、または十分な成果が得られないと認められる場合には、契約不適合が存在するものとする。但し、契約の目的達成にあたって軽微な影響しか与えないと認められるものについては、これには当てはまらない。

10.2 契約の相手方となるユーザーは、契約の内容に適合しないものがあった場合には、直ちに TRJ に書面をもって通知する必要があるものとする。

10.3 TRJ は、契約の相手方となるユーザーより契約不適合の全容を分かりやすく説明した書面を受け取った後、妥当な期間内に契約の内容に適合しないものを是正する。

10.4 民法第 562 条に基づく追完請求、民法第 563 条に基づく代金減額請求、および民法第 564 条に基づく解除は、契約の内容に適合しないものが妥当な期間内に是正されなかった場合、または是正されなかったと見なされた場合にのみ行使できるものとする。

10.5 TRJ は、本サービスにおける講座の利用が第三者の財産権や著作権を侵害したり、第三者に損害を与えたりしないことを保証することはできない。但し、TRJ は、現在に至るまでそのような如何なる権利も認識していない。

10.6 ユーザーは、自身の責において講座を注文するものとし、TRJ は、ユーザーによって注文された講座がそのユーザーの目的に合ったコースであることについて、一切の責任を負わないものとする。

10.7 本規約第 11 条の定めに従って法的要件が満たされている場合には、ユーザーが損害賠償を請求する権利は影響を受けない。

第 11 条 責任の制限

11.1 TRJ の損害賠償責任は、法的根拠の如何を問わず、特に契約上の義務違反や不正行為による義務違反の場合には、当該講座への参加費の 3 倍の金額を上限とする。いかなる場合であっても、TRJ は、間接損害、派生的損害（逸失利益、ビジネス又は機会喪失の不利益を含むがこれに限定されない。）については、一切の責任を負わないものとする。

11.2 この責任制限は、その損害が悪意、故意もしくは重過失に基づくものであった場合、または TRJ がその履行を保証していた場合、または生命、身体、健康を脅かすものであった場合、または製造物責任（PL）法に基づく損害であった場合については適用されない。

11.3 契約の履行に不可欠な重要な義務（基本的義務）の違反に基づく損害賠償請求は、前項のいずれにも該当しない場合であっても、義務違反が発生した時点で典型的かつ予見可能な損害（通常は予見可能な損害）に限定されるものとする。

11.4 損害賠償請求の時効は、関連法での定めに従うものとする。

11.5 ユーザーは、本サービスおよび提供コンテンツ等において、自らの責任において、質問、発言、行動、投稿、および発信等を行うものとし、本サービスおよび提供コンテンツ等に関連してユーザーと他のユーザーまたは第三者との間で生じた如何なる取引、連絡および紛争等についても、TRJ はその責任を負わないものとする。

11.6 本条にて定める以上の条項は、TRJ 従業員および代理人にも適用されるものとする。

第 12 条 契約の終了および解約、キャンセルおよび解約の費用

12.1 ユーザーが注文する講座には、その講座に個別の定めがない限りすべて、定められた利用期間があるものとする。

12.2 LOTおよびFTの場合は、当該教育サービス終了時に自動的に契約が終了するものとする。また、その講座に個別の定めがない限り、LOTおよびFTについては講座開始2週間前を過ぎてTRJにキャンセルの連絡が届いた場合、キャンセル料として参加費用の50%が請求されるものとする。また、LOTおよびFTの講座開始の1週間前を過ぎてTRJにキャンセルの連絡が届いた場合、またはユーザーがその講座を欠席および参加をキャンセルした場合には、参加費用の全額が請求される。FTの開始前で、受講条件を満たしている代理参加者がいる場合に限り、ユーザーは代理参加者を指名できるものとする。この場合は、ユーザーが代理を立てて自身が辞退する権利が優先される。代理参加者を指名する場合、ユーザーはLOTおよびFTの開始前に可能な限り早く、書面をもってTRJにその旨を伝えなければならない。

12.3 キャンセルは書面で行う必要があるものとする。契約の相手方となるユーザーは、そのキャンセルによって TRJ に何らの損害を与えていないか、または軽微な損害しか与えていないことを証明する権利を有する。

12.4 契約当事者である TRJ とユーザー双方の、正当な理由による特別終了の権利は、他の規定の影響を受けない。

12.5 契約の終了およびキャンセル、または解約となった場合、TRJ は当該ユーザー側からの講座および付随する提供コンテンツへのアクセスを直ちにブロックする権利を有する。

12.6 正当な理由による特別終了は、その理由を明記した書面をもって相手方に通知する必要があるものとする。尚、ユーザーによる講座の欠席は、いかなる場合も契約の終了とは見なされない。

12.7 E ラーニング講座について、ユーザーが注文後に講座をキャンセルした場合、既に支払われた費用の返金はできないものとする。

第 13 条 TRJ による講座の中止および範囲の変更

13.1 TRJ は、参加者数の不足、講師の体調不良、その他の運営上の支障等により、発表または開始された LOT を中止する場合があるが、TRJ はその責任を負わないものとする。この場合、既に支払われた参加費用は返金されるものとする。この影響を受けたユーザーには、その講座が中止される旨が直ちに通知され、それ以上の請求は生じないものとする。

13.2 本サービスにおける講座内のトレーニング方法および種類は、TRJ がその裁量により決定できるものとし、ユーザーはそれについて、異議を主張することはできないものとする。但し、予め合意されたトレーニング方法および種類から重大な逸脱があった場合においては、この限りではない。

第 14 条 不可抗力

14.1 TRJ の責に帰さない何らかの不可抗力により、本サービスの提供が不可能となった場合、ユーザーは TRJ が提供する本サービスを受けることができない。この場合、契約当事者である TRJ およびユーザーは共に、契 約を終了することができる。TRJ とユーザーは共に、それによる損害賠償、旅費や宿泊費の返金、および業務の機会損失に対する賠償請求を行うことはできないものとする。特に以下の出来事は不可抗力と見なされるが、これに限らない。

戦争、不可抗力による指示命令、第三者による妨害行為、ストライキおよびそれに伴う締め出し行為、自然災害、伝染病、地質学的変化およびその影響等。

14.2 契約当事者は、不可抗力事象が発生した後、直ちにすべての詳細を相手方に通知する義務を負うものとする。さらに、契約当事者は相手方が講じるべき適切な措置について相互に助言を行う必要があるものとする。

第 15 条 個人情報保護

15.1 個人情報の保存と使用は、個人情報保護法及びその他の適用法令並びにテュフ ラインランド ジャパン株式会社 個人情報保護宣言に従って行われ、本サービスに関する契約の履行とテュフ ラインランドのマーケティングのみを目的として行われるものとする。

15.2 ユーザーのビジネス上の連絡先情報は、テュフ ラインランドのパンフレット、プログラム、セミナー情報等を送付する際に、テュフ ラインランドがマーケティング目的で使用するものとする。

15.3 ユーザーは、TRJ のデータ保護部門（〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-19-5 テュフ ラインランド ジャパン株式会社「個人情報お問合せ担当」）への郵送による通知、または JP-PersonalDataProtection@tuv.com 宛に電子メールによって通知することで、テュフ ラインランドのマーケティング目的によるユーザーの個人情報の使用、加工、送信にいつでも異議を唱え、同意を撤回することができる。TRJ は、ユーザーからの異議申し立てまたは同意の取り消しの通知を受けた後、それに関連する情報をマーケティング目的で使用、加工、送信することはなくなり、直ちに広告物の送付を停止するものとする。

15.4 TRJ 顧客組織に所属するユーザーの試験結果、またはそれに関連する教育サービス記録を顧客組織に直接提供することが義務づけられている場合、顧客組織はこれらの情報の提供が個人情報保護法およびその他の適用法令に基づき行われていることを保証するものとする。

15.5 テュフ ラインランドにおいては、本規約 15.1 および 15.2 の目的のほか、テュフ ラインランド グループとしてのサービスの提供に必要な範囲で、ユーザーの氏名、住所、電話番号等の連絡先、その他それぞれが保有するすべての個人情報について、互いに共同利用する場合がある。その場合の個人情報管理責任者は、テュフラインランド ジャパン株式会社とする。

15.6 他の個人または団体と本サービスを共同提供する場合は、当該サービスに関連して取得した個人情報については、当該共催に必要な範囲内で、共催者と共同利用する可能性がある。その場合の個人情報管理責任者は、テュフ ラインランド ジャパン株式会社とする。

第 16 条 属性情報および行動履歴の取得および利用

16.1 テュフ ラインランドは、ユーザーが本サービスおよび提供コンテンツ等を利用する際に提供したユーザーの年齢、性別、職業等の情報ならびに本サービスおよび提供コンテンツ等に関する行動履歴を取得する権利を有する。ユーザーは、テュフ ラインランドが当該情報および当該行動履歴を本サービスおよび提供コンテンツ等の提供に必要な範囲で利用すること、また当該ユーザーからの注文の有無に関わらず、テュフ ラインランドがこれらの情報を基に関連法に従って作成された統計情報を利用することに同意するものとする。尚、テュフ ラインランドは、法律上の根拠に基づいて要求された場合、および当該ユーザーの許諾を得た場合を除いて、ユーザー個人を特定できる情報を第三者に開示することはない。

16.2 テュフ ラインランドは、ユーザーが本サービスおよび提供コンテンツ等を利用した際に取得したユーザーの属性情報や本サービスおよび提供コンテンツ等に関する行動履歴等を用いて、テュフ ラインランドのマーケティング目的およびユーザーの利便性向上を目的として、本サービスおよび提供コンテンツ等の提供、およびユーザーに関連があると思われる他講座の提案を行えるものとし、ユーザーは予めこれに同意するものとする。

第 17 条 通知

17.1 本サービスおよび提供コンテンツ等に関する問い合わせ、その他ユーザーから TRJ に対する連絡または通知、および本規約の変更に関する通知、その他 TRJ からユーザーに対する連絡または通知は、TRJ の定める方法で行うものとする。

17.2 TRJ は、ユーザーの権利保護や利便性の維持・確保を目的とする重要な通知に限り、本規約 15.3 の定めに関わらず、ユーザーに TRJ の定める方法で通知を行うことがある。

第 18 条 反社会的勢力の排除

18.1 ユーザーは、本サービス利用契約を締結する前および後において、自らが、暴力団およびその関係企業または組織、総会屋またはこれらに準ずる者またはその構成員（以下総称して「反社会的勢力」という）または関係者ではないことを保証しなければならない。

18.2 ユーザーは、本サービス利用契約を締結する前および後において、反社会的勢力に自己の名義を利用させてはならない。

18.3 ユーザーは、本サービス利用契約を締結する前および後において、自らおよび第三者を使って、如何なる個人または法人および団体に対する脅迫的な言動や誹謗中傷、または暴力を用いる行為を行ってはならない。

18.4 ユーザーは、本サービス利用契約を締結する前および後において、偽計または威力を用いて如何なる個人または法人および団体の業務を妨害、または信用を毀損する行為を行ってはならない。

18.5 本条の定めに対する違反があった場合、または TRJ が違反があったと考える場合、TRJ は、本規約 8.1 に定められたアクセスのブロックおよび利用契約の解除、およびこれによって生じた損害賠償を請求する権利を有する。

第 19 条 分離可能性、書面による合意、裁判管轄等

19.1 本書に付属契約は存在しない。

19.2 いかなる修正又は補遺も書面により締結しなければ有効とならない。尚、係る約定は本条項の修正又は補遺についても同様である。

19.3　本書のいずれかの条項が無効となった場合には、契約当事者は、当該無効となった条項を適法、かつ法的及び商業的見地から元の意味に最も近い内容に置き換えるものとする。

19.4　本書に起因する一切の紛争については、TRJ の利益を保護する限度で横浜の裁判所を専属的合意管轄裁判所とする。本書は、日本法に準拠する。

2025 年 3 月 13 日

テュフ ラインランド ジャパン株式会社

代表取締役社長: 岡本　邦裕

登録事業所:

〒222-0033

横浜市港北区新横浜 3-19-5
TEL: 045-470-1850
FAX: 045-473-5221